



霧島縦走(九州100名山)

鹿児島と宮崎の県境を南北に走る霧島火山群は、霧島屋久島国立公園で、大小二十三の火山群が密集しており、火口湖、群状火山、高原と自然豊かな景観となっている。

登山の対象となる山は、韓国岳 1700m、獅子戸岳 1492m、新燃岳 1420.8m、中岳 1332.4m、高千穂峰 1574mなどで、山腹豊富な温泉がある。

花(早春～夏)：キリシマミズキ・ノカイドウ・ミヤマキリシマ 秋には、硫黄山の硫黄(亜硫酸ガス)の影響で、ススキがえび色に染まることからこのあたり一帯をえびの高原と呼んでいる。

登山口まで

武雄南から100km圏内 みやま柳川IC

みやま柳川ICから100km圏内 八代IC

高速1,000円

12月19日(土)

高千穂河原から高千穂峰往復

目標: 4時間20分(休憩含む)

- お鉢の登りは、赤茶けた溶岩が風化によって、砂礫となっていて滑りやすい。
- お鉢の上部の斜面は、幅が狭くなり、道の両側が急斜面なので、視界のない時や強風時に注意が必要。
- 火口壁から広い鞍部につく、ここは馬の背と呼ばれ、霧島神社の跡地で、初夏には、イタドリ、マイヅルソウがわずかに緑を添えている。
- 鞍部から先は、火山礫の急斜面となり、頂上直下は足場が悪い。
- 傾斜が緩むと日章旗が現れ、高千穂峰山頂西端に着く。東の一角に山小屋があるがシーズン以外は閉じている。

12月20日(日)

霧島縦走(不動池～高千穂河原)

目標: 7時間00分(休憩含む)

- 水蒸気を上げる硫黄山のそばを登り、一合目へ。
- コハウチワカエデ・キリシマミズキ・ミズナラの林を抜けると三合目。
- 三合目をぬけると視界が開け、硫黄山・ユニークな台形の甑岳が望め、不動池の後方に六觀音御池やかつて九州唯一の天然スケートリンクとなっていた百紫池が見える。
- 急な登りは、五合目まで、その後、頂上まではクマザサやミヤマキリシマの群生を登る。
- 山頂からの展望は、すばらしく韓国まで見えるような展望で、韓国岳と名付けなれた。
- 縦走路は、火口壁を南から東へ続く。
- 南に下るとガレ場となり、侵食により谷状となる。
- 琵琶池の南端を歩き、ミヤマキリシマの群生を抜けて南へ向かう。
- 平坦な道から登りなり、赤茶けた荒れた尾根の登りは、灌木が多くなると獅子岳山頂となる。
- 縦走路を南進すると短い急下降で鞍部なり、登山道がクロスする。このあたりは、ミツバツツジが多い。
- 縦走路は、新燃岳火口北端に出る。

中岳は、特徴のない高原状の台地で、中央丘に南北に二つの浅い火口がある。

高千穂河原へは、溶岩が露出した場所もあり、注意しながら下降する。

1116mの丘には、ベンチがあり、ミヤマキリシマの群生地となっており、展望を楽しみ、休憩に良い。

歴史

高千穂峰山頂には、天ノ逆鉾があり、天孫降臨の地と伝えられ、宮崎県の高千穂町と天孫降臨神話を巡る本家争いが続いている。

自然

霧島屋久島国立公園

温泉

宿泊先で下山後、温泉に入浴します。

登山口温泉民宿(霧島神宮前ユースホステル)

電話 0995-57-0127

一泊2食 トレッキングプラン 7,800円